

臨床福祉専門学校
理学療法学科（夜間部）平成30年度 第二回教育課程編成委員会 議事録

日時：平成31年2月22日（金） 18:00～19:00

場所：臨床福祉専門学校 3F会議室

出席委員及び所属

中村 岳雪（東京都理学療法士協会 理事）

下河辺 雅也（山田記念病院 技師長）

水落 太郎（明和病院 リハビリテーション科 主任）

石垣 栄司（臨床福祉専門学校 理学療法学科統括学科長）

樋口 豊朗（臨床福祉専門学校 係長）

欠席：吉葉 則和（臨床福祉専門学校 理学療法学科夜間部学科長）

1. 本日会議の趣旨説明（石垣）

以前の会議でも情報提供をしていたが、敬心学園では本校舎に2020年度の開校を目指し、専門職大学の設立計画を現在申請中である。本校では既に募集停止をしている理学療法学科・柔道整復学科に続き、残りの言語聴覚療法学科についても、正式に募集停止の手続きを行った。よって、当初の予定通り、2022年の理学療法学科夜間部の学生が卒業した後、正式に閉校予定となる。

元々、本会議は、職業実践専門課程の認可基準の一つであり、実践的な教育カリキュラムを構築する事を目的に開催されたが、今後は学生が入学してこないという背景の中、職業実践専門課程の認可も2019年度中に取り下げる方向である事が、学内の経営会議で決定した。

よって、教育課程編成委員会は本日を持って閉会となる。本日は今までの振り返りを行う事とする。

2. 振り返りと意見交換等

・昼間部同様夜間部でも当初より実習教育の難しさが最大の焦点となっていたが、現在でも、実習でモチベーションが下がり退学する学生は多い。
実習施設から不可と言われる時代ではなく、学生の方から諦めてしまう時代。

・委員の意見を踏まえて「他業種との触れ合い」「早期の見学実習の振り返り」をカリキュラムに反映した。学生のモチベーション向上に一定の成果はあったもののまだまだ実習対策として課題は多いのが現状。

- 「理学療法士になりたい」という自らの意思を持って入学した学生は問題ないが、そうでない学生が非常に多い事から、早期の職場見学を導入している。しかし、その中身はそこまで具体的なものではなく、そこをもう少しテコ入れ出来れば良かった。
- 夜間部の学生は社会人が多いため、通常の実技授業でも、技術一つ一つに協調性に欠け「こだわり」を持つ学生が多い。それが実習に出た際に、指導者と合わないという事例があった。それに対して、具体的な対策が見いだせなかったのが課題。